

現在の寄付金予定額は
3,979,977円
です。

赤字の原因について

商売を始めるにあたり弊社では「創業経費」と呼んでいる開店前経費が必ず発生致します。食器や包丁、ユニフォーム、レジスターの購入などは商売をする上で必ず必要になります。また、物件を借りてもすぐには営業出来ません、改装や開店前の準備期間がございますが、その間にも家賃は発生致します。更にスタッフを雇用しても即戦力とはなりません。サービスや調理が出来るように教育をする期間もございます。これらの経費が創業経費に該当致します。下部に2店舗それぞれの創業経費の額を記載しておりますが、創業経費2店舗合計7,132,409円かかっており、営業利益11,112,386円から差し引いた残り3,979,977円が現在の寄付金予定額でございます。

仙台店

9月13日に開店するまでの創業経費は可能な限り抑えて参りましたが、8月1,813,220円、9月2,431,015円、合計4,244,235円が掛かっております。その経費の計上が8月、9月赤字の原因でございます。

銀座店

平成23年12月27日までは『秋田川反漁屋酒場 銀座分店』として営業していた店舗ということもあり、仙台店同様創業経費が発生してはおりますが、限りなく低く抑えることができました。創業経費として1月2,888,174円が掛かっておりますが、平成24年1月17日より開店し1,034,294円の店舗利益をあげることが出来、最終的には創業月の赤字を1,853,880円とすることが出来ました。

2店舗合計

自平成23年9月13日至平成24年3月31日

(円)

	H23.8	H23.9	H23.10	H23.11	H23.12	H24.1	H24.2	H24.3	累計
売上高	0	3,391,885	6,176,031	5,608,559	5,602,399	9,056,583	11,806,431	14,085,786	55,727,674
仕入・経費	1,813,220	5,367,385	4,825,276	3,946,774	4,268,440	10,022,421	10,344,721	11,159,460	51,747,697
利益	-1,813,220	-1,975,500	1,350,755	1,661,785	1,333,959	-965,838	1,461,710	2,926,326	3,979,977

復興支援酒場仙台店

自平成23年9月13日至平成24年3月31日

(円)

	H23.8	H23.9	H23.10	H23.11	H23.12	H24.1	H24.2	H24.3	累計
売上高	0	3,391,885	6,176,031	5,608,559	5,602,399	4,811,632	4,556,444	5,985,440	36,132,390
仕入・経費	1,813,220	5,367,385	4,825,276	3,946,774	4,268,440	3,923,590	3,854,392	4,837,248	32,836,325
利益	-1,813,220	-1,975,500	1,350,755	1,661,785	1,333,959	888,042	702,052	1,148,192	3,296,065

復興支援酒場銀座店

自平成24年1月17日至平成24年3月31日

(円)

	H23.8	H23.9	H23.10	H23.11	H23.12	H24.1	H24.2	H24.3	累計
売上高						4,244,951	7,249,987	8,100,346	19,595,284
仕入・経費						6,098,831	6,490,329	6,322,212	18,911,372
利益						-1,853,880	759,658	1,778,134	683,912

経費についての考え方

- 経費の線引きについてでございます。細かなことを言えば、秋田にある本社の人間が現地への指導の為にかった交通費等も店舗の経費となりますが、復興支援酒場に関してはその様な類の経費は本社負担として一切計上しておりません。純粋に店舗(現場)でかった経費だけを計上しております。
- 経費の内訳についてでございます。たとえば家賃が公になると隣のビルオーナー様やテナント様に御迷惑をお掛けしてしまう事も考えられますので、経費内訳の発表については検討致しましたが差し控えさせて頂き、一括して「経費」として公表することと致しました。
- 経費の使い道についてでございます。「売上高」-「仕入・経費」=「利益(寄付金)」となります。復興支援酒場は利益を全額寄付する店舗ですが、支払う「仕入・経費」も極力被災地へ落ちるように地元雇用や仕入先選定などの努力をしております。また、仕入れる品を被災地3県の地酒や食材を主なものとするにより、1次産業～3次産業まで連鎖的にお金が落ちるようにと考えております。

上記のとおり報告いたします。

株式会社ドリームリンク
代表取締役 村上 雅彦



利益の公開にあたって

公明正大を期す為、税理士事務所より内容についての検証を頂いております。

自平成23年9月13日至平成24年3月31日
検証致しました。

税理士 吉川 昭一

